



行事報告

■ 一般社団法人移行記念講演の開催について

一般社団法人 寒地港湾技術研究センター

平成 25 年 9 月 10 日（火）午後 2 時から、京王プラザホテル札幌エミネンスホール（2 階）に於いて、本年 4 月 1 日に一般社団法人となりました寒地港湾技術研究センターの一般社団法人移行を記念した講演「これからの Civil Engineer に求められること」が、全道の各地から 210 名の出席により開催されました。はじめに、主催者として当センターの土岐祥介代表理事長から、来賓として北海道開発局港湾空港部長の川合紀章様から挨拶があり、水野雄三代表理事長から当センターの紹介がありました。

講演は 2 部構成で、第 1 部は前北海道大学総長の佐伯浩氏が「今望まれる土木技術者像」と題して、長年、高等教育現場に携わられた立場から、社会に出て行く直前の学生時代の状況がかなり変わりつつある事に触

れ、出席者の若い入社志望の技術者育成に役立てばという思いをアクションプランを含めご講演いただきました。第 2 部は北海道総合研究所所長の浅田英祺氏が「工学の曙—廣井勇博士とドイツ工学の影響—」と題して、廣井博士のドイツ留学の経緯とその影響についてご講演いただきました。講演後の限られた時間でしたが、会場から多くの質問が出され、お二人の講師から貴重なお話をいただき、満場の拍手で講演が終了しました。

最後に、何かとお忙しい中、快くご講演いただきました佐伯浩氏、浅田英祺氏のお二人とともに、多数ご参加いただきました皆様に、紙面を借りてお礼を申し上げます。なお、本記念講演の詳細につきましては、来年発行の機関誌「海と港」32 号に掲載する予定です。

